

## 大口径望遠ズームレンズ“RF100-300mm F2.8 L IS USM”を発売 優れた機動力と単焦点レンズに迫る高画質を両立しさまざまな撮影シーンに対応

キヤノンは、「EOS R システム」の交換レンズ「RF レンズ」において、プロフォトグラファーから高い評価を得ている大口径望遠ズームレンズの新製品として、開放絞り値 F2.8 の明るさと、幅広い焦点距離をカバーするフラッグシップズームレンズ“RF100-300mm F2.8 L IS USM”を 2023 年 5 月下旬に発売します。



RF100-300mm F2.8 L IS USM



単焦点 L レンズに迫る高画質を実現

“RF100-300mm F2.8 L IS USM”は、最高水準の性能を追求した「L (Luxury)」レンズならではの高画質と、優れた機動力を両立した軽量・コンパクトな大口径望遠ズームレンズです。スポーツ・報道をはじめ、さまざまなジャンルにおいて、「RF70-200mm F2.8 L IS USM」(2019 年 11 月発売) よりも望遠域の表現にこだわりたいユーザーや、「RF100-500mm F4.5-7.1 L IS USM」(2020 年 8 月発売) よりも明るい開放絞り値を求めるユーザーなどの幅広いニーズに応えます。別売りのエクステンダーを装着することで、焦点距離 600mm<sup>※1</sup> まで望遠域を拡大することができ、さまざまな撮影シーンに対応します。

### 1. 100mm から 300mm の焦点距離をカバーしながら F2.8 の明るさと軽量化を実現した大口径望遠ズームレンズ

フルサイズ CMOS センサー対応の焦点距離 300mm を含む F2.8 ズームレンズとして世界最軽量<sup>※2</sup>となる質量約 2,590g を実現し、優れた機動力を発揮します。また、ズーム全域で F2.8 の明るさを生かした撮影をすることができ、光量が不足しがちな室内スポーツなどで、より低感度・速いシャッタースピードで被写体の動きを鮮明に捉えることができます。また、美しいボケ味と望遠レンズの圧縮効果を生かした表現力豊かなポートレート撮影が可能です。

### 2. 単焦点 L レンズに迫る高画質をズーム全域で実現

「RF マウント」の特長である大口径・ショートバックフォーカス<sup>※3</sup>を生かし、1 枚の「蛍石レンズ」と 4 枚の「UD レンズ<sup>※4</sup>」、1 枚の「ガラスモールド非球面レンズ」を含む 18 群 23 枚の光学設計により、画質劣化の原因となる諸収差を低減することで、ズームレンズながら単焦点 L レンズに迫る高画質を実現しています。また、別売りのエクステンダー装着時においても高画質を実現し、幅広い領域で優れた描写性能を発揮します。

### 3. 2 つの「ナノ USM (超音波モーター)」による静止画撮影時の高速・高精度 AF と動画撮影時のなめらかな AF

フォーカスレンズ群とフローティングレンズ<sup>※5</sup>群を、2 つの「ナノ USM (超音波モーター)」で個別に駆動して最適に制御する、電子式フローティングフォーカス制御を採用しています。すべてのズーム域と撮影距離における優れた描写性能を実現するとともに、静止画撮影時における高速・高精度 AF と、動画撮影時における被写体の動きに合わせてなめらかに追従する AF を実現しています。

※1.「エクステンダー RF2×」(2020 年 7 月発売) 装着時。「エクステンダー RF1.4×」(2020 年 7 月発売) 装着時は焦点距離 420mm まで拡大。

※2.2023 年 4 月 19 日時点。キヤノン調べ。

※3.最後部のレンズ面の頂点から撮像面までの光軸上の距離が短いこと。

※4.UD (Ultra low Dispersion=特殊低分散) ガラスを用いたレンズ。

※5.撮影距離に応じて、レンズを動かすことで収差を補正するレンズ。

製品名	希望小売価格	発売日
RF100-300mm F2.8 L IS USM	オープン価格	2023 年 5 月下旬

- 
- 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター 0570-08-0002
  - EOS ホームページ : [canon.jp/eos](https://canon.jp/eos)

## 〈“RF100-300mm F2.8 L IS USM”の主な特長〉

### 1. 100mm から 300mm の焦点距離をカバーしながら F2.8 の明るさと軽量化を実現した大口径望遠ズームレンズ

- フルサイズ CMOS センサー対応の焦点距離 300mm を含む F2.8 ズームレンズとして世界最軽量となる質量約 2,590g を実現。携行時や撮影時に優れた機動力を発揮。
- 焦点距離 100mm から 300mm のズーム全域で、F2.8 の明るさを生かした撮影を実現。光量が不足しがちな室内スポーツなどで、より低感度・速いシャッタースピードで被写体の動きを鮮明に捉えることが可能。
- F2.8 の明るい開放絞り値による美しいボケ味と望遠レンズの圧縮効果を生かした豊かな表現が可能。ポートレート撮影にも最適。
- 別売りの「エクステンダー RF1.4×」「エクステンダー RF2×」（両機種ともに 2020 年 7 月発売）と組み合わせて使用することで、それぞれ焦点距離が 420mm／600mm まで拡大し、幅広い領域を撮影することが可能。



室内撮影でも F2.8 の明るさを生かした自由度の高い撮影が可能



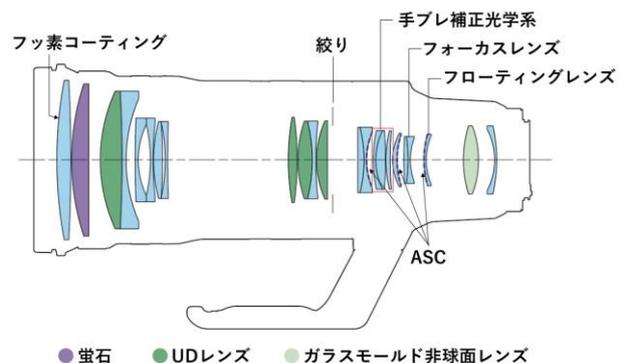
焦点距離 600mm  
「エクステンダー RF2×」装着時

### 2. 単焦点 L レンズに迫る高画質をズーム全域で実現

- 新しいメカ設計において、ズームレンズ群のレンズ位置を安定化したことにより、ズームレンズながら単焦点 L レンズに迫る高画質を実現。
- レンズ本体の光学性能の向上により、別売りのエクステンダー装着時においても、L レンズならではの高画質を実現し、幅広い領域で優れた描写性能を発揮。
- 「RF マウント」の特長である大口径・ショートバックフォーカスを生かし、撮像面近くにレンズを配置。1 枚の「蛍石レンズ」と 4 枚の「UD レンズ」、1 枚の「ガラスモールド非球面レンズ」を含む 18 群 23 枚の光学設計により、ボケ味の柔らかさについても配慮しながら、ズーム全域で色収差を抑制し高画質を実現。
- 特殊コーティング「ASC（Air Sphere Coating）」を 3 枚のレンズ面に採用することで、レンズ内の光の反射が撮影画像に入り込んでしまうフレアやゴーストの発生を低減。
- 最短撮影距離 1.8m（ズーム全域）、最大撮影倍率 0.16 倍（焦点距離 300mm 時）を実現し、被写体のディテールに迫ったクローズアップ撮影が可能。



画面全域の高画質を実現



RF100-300mm F2.8 L IS USM（100mm 時）  
光学構成図

### 3. 2つの「ナノ USM（超音波モーター）」による静止画撮影時の高速・高精度 AF と動画撮影時のなめらかな AF

- フォーカスレンズ群とフローティングレンズ群を、2つの「ナノ USM（超音波モーター）」で個別に駆動して最適に制御する、電子式フローティングフォーカス制御を採用。すべてのズーム域と撮影距離における優れた描写性能を実現。
- 「ナノ USM」と EOS R シリーズのデュアルピクセル CMOS AF との組み合わせにより、静止画撮影時における高速・高精度 AF を実現。最新の EOS R シリーズの電子シャッターによる高速連写や、高度な被写体検出によるトラッキングを組み合わせた、サーボ AF の複雑な動きにも対応し、素早く動く被写体にも確実にピントを合わせて撮影することが可能。
- 動画撮影時においても被写体の動きにあわせてなめらかに追従する AF を実現。さらに、動画撮影時のフォーカス操作によって生じる画角変動を、カメラで電子的に補正する「フォーカスブリージング補正」に対応<sup>※1</sup>。



素早く動く被写体をとらえる高速・高精度 AF のイメージ

※1. フォーカスブリージング補正機能を搭載したカメラ装着時。動画撮影モードでのみ使用可能。

### 4. 強力な手ブレ補正効果により快適な撮影を実現

- レンズ内光学式手ブレ補正機構により 5.5 段<sup>※1</sup>の手ブレ補正効果を実現。
- ボディー内手ブレ補正機構を搭載している EOS R シリーズ<sup>※2</sup>のカメラとの組み合わせでは、カメラとレンズによる協調制御を実現。「EOS R3」（2021 年 11 月発売）装着時は、6.0 段<sup>※3</sup>の手ブレ補正効果を発揮。
- 手ブレ補正モード選択スイッチの切り換えで、被写体の動きに応じたモードの選択が可能。

※1. 焦点距離 300mm、「EOS R」（2018 年 10 月発売）使用時、CIPA 規格に準拠（Yaw/Pitch 方向）。

※2. 協調制御対応カメラはキヤノン公式 WEB サイトをご確認ください。

※3. 焦点距離 300mm、「EOS R3」使用時、CIPA 規格に準拠（Yaw/Pitch 方向）。

### 5. 「L レンズ」ならではの信頼性や優れた操作性

- 軽量化を実現しながら、「L レンズ」ならではの耐久性・堅牢性を実現。マウント部、スイッチ部、操作リングなどに防じん・防滴構造を採用<sup>※1</sup>。
- レンズの最前面に油や水滴が付着しにくいフッ素コーティングを採用。
- 太陽光に含まれる赤外線の反射率を高め、温度上昇を軽減できる遮熱塗料を採用。キズがつきにくいレザートーン塗装との組み合わせで、あらゆる撮影シーンで、優れた遮熱性と耐擦性、耐候性を発揮。
- カメラのグリップを持ったまま操作可能な鏡筒手前部分に、「レンズファンクション／フォーカスプリセットボタン」を配置。切り換えスイッチにより、機能割り当てを変更することが可能。
- レンズ鏡筒の前側に 4 つの「レンズファンクションボタン」を搭載。カメラ側の設定で機能を割り当てることができ、レンズの向きや構えにかかわらずスピーディに操作することが可能。



防じん・防滴シーリング箇所



レンズファンクション／フォーカスプリセットボタン

※1. 防じん・防滴に配慮した構造になっていますが、砂じんや水滴などの侵入を完全に防ぐことはできません。

#### 〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノンホームページをご参照ください。<https://cweb.canon.jp/eos/rf/lineup/rf100-300-f28/>